

ながふじ学府学校保健委員会

- 1 日時:平成28年1月12日(火)
午後3時～午後4時30分
- 2 会場:豊田東交流センター
- 3 参加者:(各学校PTA、学校職員) 73名
豊田中学校 18名
豊田北部小学校 22名
豊田東小学校 31名
その他 2名

ながふじ学府学校保健委員会(昨年度までは豊田中学校区学校保健委員会)も、11回目となりました。今回は、NPO法人マインドサポーター EGAO 代表の佐々木雅啓さんを講師に招き、「子どもの自尊感情を育む親の接し方」についての講話をしていただきました。講話やグループワークを通して、よりよい親の接し方について学びました。講話の内容をまとめましたので、ぜひ御覧ください。



1 参加者アンケート集計結果

開催日時については、「よい」が(79.3%)、「改善を要する」(20.7%)でした。「改善を要する」と答えた人の内容は、「1学期か2学期がよい」「土・日がよい」「子どもが下校する前がよい」という意見が書かれていました。

開催会場については、「よい」が100%でした。

内容については、「よい」が98.3%、「改善を要する」が1.7%でした。

2 佐々木雅啓さんの講話 ～子どもの自尊感情を育む親の接し方～

- 親が子どものコーチになる。
子どもの気持ちに気づきサポートする。(力に気付く)
親が子どものできていることに気づいてできていることを認める。できていることは、子どもに任せる。
- 子どもがやる気になる働きかけ
やる気とは→有能感、達成感、自律感
関心があることからスモールステップで進ませる。
「自分で決めた」が大切。
- 親の気持ちの切り換え方
感情=事実+固定観念(子どもに対する親の「～すべき」という想い)
感情に気付く→元にある想いに意識を向ける。
子どもの言動で親の心がざわめく瞬間は、親の固定観念や望みが元にある。
- 子どもとの間のよりよい信頼関係
子どもは一言や二言で変わるわけでもないし、親もすぐに変えられるわけではない。繰り返して積み重ねていくことにより、親子の信頼関係を作っていく。